

**『新規制基準適合性審査の進捗状況について』
～地震等関係は、審査会合での審議が終了いたしました～**

9月14日に開催された「地震等関係の取りまとめの審査会合」では、地質・地質構造や基準地震動の策定等をまとめた資料については、妥当な検討が行われたものと評価されましたが、火山影響評価については、追加の指摘（恐山の活動性に関する説明の充実）を受けました。

このため、恐山直下におけるマグマ等の存在状況に関する追加の解析・考察を行った結果について、本日（11月30日）の審査会合において回答・説明を行いました。

その結果、当社からの回答・説明に対して、妥当な検討が行われたものと評価されるとともに、地震等関係については、審査会合において今後審議すべき論点はないということが確認されました。

当社は、この確認が得られたことから、地震等関係については、これまでの審議内容を踏まえて、事業変更許可申請書の一部補正を実施していくことといたします。

【適合性審査のこれまでの動き】

事業許可申請書に関する新規制基準への適合性審査は、原子力規制庁によるヒアリング審査が平成26年1月22日～平成30年11月27日までに計170回、原子力規制委員会による公開での審査会合が、平成28年6月から今回までに計18回実施されています。



【写真】11月30日審査会合

これまでの主な審査項目の進捗状況は、下表のようになっています。今後、施設関係において継続審議となっている「津波防護方針等」の審査に取り組んでいきます。

【 審査の進捗状況 】

審査区分	これまでに確認された項目	今回及び今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻等】等」） ○耐震設計の基本方針 ○津波評価方針のうち、津波防護方針等（漂流物による影響、浸水による影響、浸水対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、津波評価方針のうち、津波防護方針等の審査会合（4/26, 9/21, 11/20）での指摘事項（水圧による荷重の考え方と影響）への回答を実施
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> ○火山影響評価 ○地質・地質構造 ○地震動、基準地震動、基準地震動の年超過確率、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価 ○津波評価方針のうち、仮想的大規模津波の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○今回（11/30）、取りまとめ審査会合（9/14）での指摘事項（火山関係）への回答を実施

(1) 前回の審査会合 (9/14) について

① 当社説明

- (a) 敷地周辺の地質・地質構造
- (b) 敷地の地質・地質構造
- (c) 基準地震動の策定
- (d) 基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価
- (e) 仮想的な大規模津波の策定
- (f) 火山影響評価

② 審査結果 (指摘事項)

- (a)から(e)については、妥当な検討が行われたとの評価が得られた。
- (f)については、主に以下のような追加の指摘がなされた。

○ (恐山の活動可能性に関する地球物理学的調査の一つである地震波速度構造に関して) 地震波トモグラフィ*について、防災科学技術研究所の解析結果も含めて考察すること。

* : 地震波の伝播速度を用いて地下内部の3次元速度構造を求める手法

(2) 今回の審査会合 (11/30 : 前回審査(9/14)での指摘事項への回答) について

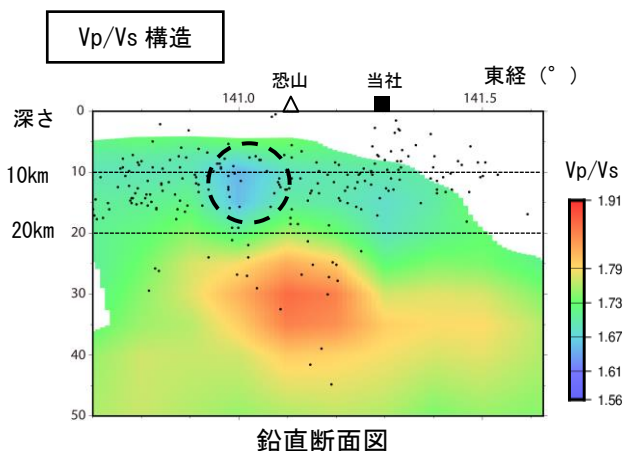
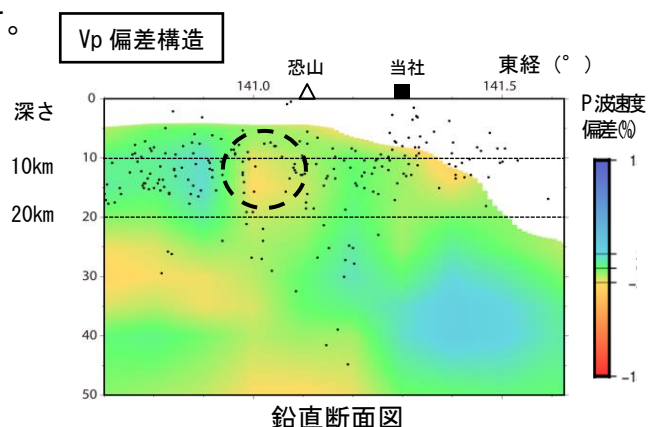
① 当社説明

- (a) 防災科学技術研究所が公開している地震波トモグラフィのデータと公開ソフトを用いて、恐山周辺地域における地震波速度構造を評価。

一例として鉛直断面図を右に示す。

- ・ 深さ 20km 以浅では、低 V_p かつ低 V_p/V_s 領域 (破線丸) であることから、水の存在を示唆しているものと判断される。
- ・ 深さ 20~40km 付近には、低 V_p かつ高 V_p/V_s の領域が認められ、マグマ等の存在が示唆される。

- (b) 上記は、当社が別に実施した地震波速度構造及び電磁法探査による比抵抗構造とも整合する。
- (c) このため、深さ 20km 以浅には大規模なマグマ溜まりが存在する可能性は小さく、20km 以深から連続する火道も見受けられない。
- (d) その他、活動履歴、地質調査、火山学的調査等の結果を踏まえると、恐山は現在も熱水活動が生じているものの、マグマ噴火に伴う火砕物密度流が施設に影響する可能性は十分に小さい。



② 審査結果

上記等の説明に対して、妥当な検討が行われたものと評価された。

以上